



萩東中だより



2020年
5月18日

〒758-0025 萩市土原556番地 TEL0838(25)2721 FAX0838(25)3721
e-mail higashi-jh@edu.city.hagi.lg.jp

NO.3

待ちに待った学校の再開です！

5月8日の登校日には、大勢の教員が、久々に登校してくる子どもたちを校門で出迎えました。子どもたちも、久々の学校の空気と友達との再会に明るく元気な笑顔を見せてくれました。

そして今日（5月18日）、いよいよ待ちに待った学校の再開です。国が『特定警戒都道府県以外においては、感染の状況を踏まえつつ、より社会経済活動の維持との両立に配慮した取組に段階的に移行していくこととする』という方針を示し、萩市対策本部からは『児童・生徒の学力の低下を防ぐため、早期に学校教育活動の再開に努めること』との基本方針が出されました。このことを受け、萩市教育委員会の判断で、予定では24日までだった臨時休業を一週間繰り上げての学校再開となりました。

テレビの報道番組を見ていると、「緊急事態宣言解除」や「自粛緩和」、「出口戦略」といった言葉が聞こえてきますが、新型コロナウイルスの感染が完全に終息したわけではありません。授業の遅れや行事の開催の是非も気になりますが、まずは感染予防対策を最優先に考えていかなければなりません。萩東中学校では、文部科学省や教育委員会からの通達や指示を受けながら、学校医さんとも相談し、「萩東中学校 新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を作成しています。このガイドラインに基づき、手洗いや換気の指導、こまめな健康観察、授業中の学習形態の工夫、多人数が集まる行事や大会の中止など、できる限りの感染予防対策に全教職員で努めてまいります。

休業中、学校としてできることは何でもやろうと、できるだけ「3密」を避けるための授業の工夫について協議したり、生徒用のマスクを作ったり、講師を招聘して効果的な手洗いの仕方を学んだりしました。保護者の皆様にも、毎朝ご家庭で検温をしていただくことや、少しでも体調に異変が認められる時は自宅療養していただくなど、これまで同様のご協力をお願いします。

さて、話は変わりますが、みなさんゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか。私は録り溜めしていたドラマ「テセウスの船」を一気見しました。タイムスリップという現実離れした話ではありますが、家族の絆、そして今を一生懸命頑張ることが未来の幸せにつながるということをあらためて実感しました。マンガやドラマから教えられることもたくさんあります。そう思いながら、毎週「ワンピース」や「ハイキュー」を読んでいます。（校長 網本徳文）



課題を提出している2年生



養護教諭からの指導（3年）



3密を避け、教室で一人仕事をしている1年部教員



学校再開に向け、教室の掲示を行う2年部教員



在宅勤務のため、資料等を持ち帰っている3年部教員

